

オイルへの潤滑油 適正量充填のお願い

オイル注意銘板

注意!

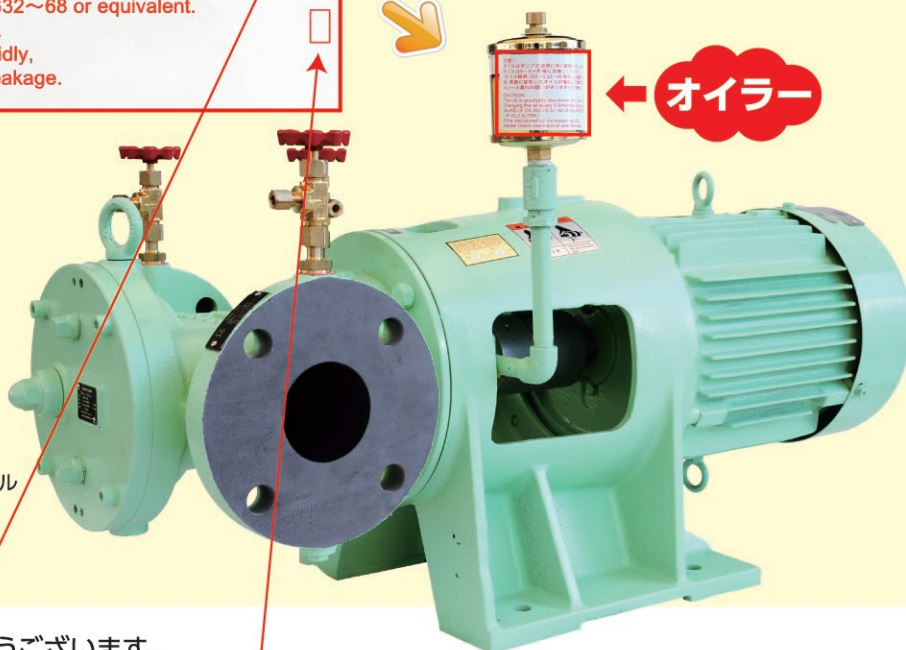
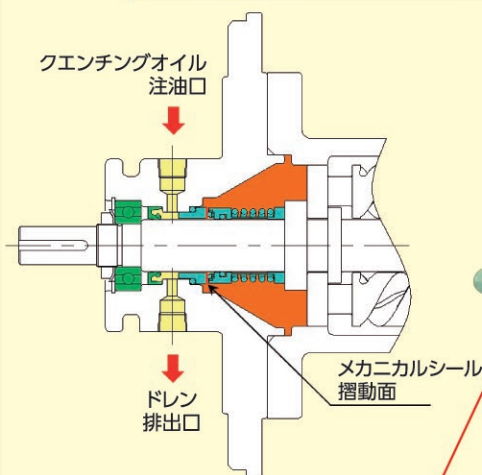
オイルはポンプの使用に伴い変色いたします。
変色したオイルが“▶”マークに達したら、オイルを交換してください。

◀ オイルはISO VG32~68相当を使用し、“□”マークまで注油してください。
尚、急激に変色したオイルが増加した場合は、メカニカルシール漏れの疑いがありますので点検してください。

CAUTION!

This oil is gradually discolored with use of pump.
If the discolored oil reach “▶” mark, please exchange oil.
The recommended oil is ISO VG32~68 or equivalent.
Please refill with oil to “□” mark.
If the discolored oil increase rapidly,
please check mechanical seal leakage.

※オイル注意銘板を
オイル本体に貼付しております。



平素は、当社の製品をご利用頂き有難うございます。

容積型ポンプ(ギヤー・3軸スクリー)に付属しておりますオイル保守に関しまして、下記の通りご連絡させていただきます。

1. オイルクエンチングの役割

メカニカルシールの大気側に油溜室を設け、そこに潤滑油を封入することでメカニカルシールの摺動面を大気から遮断して、加圧・過熱された燃料油がメカニカルシールから滲み出た際に固化しないようにしています。

※滲み出た燃料油が固化しますと、残留物がメカニカルシール摺動部に堆積し、メカニカルシールの摺動面が開くことにより許容量を超えたシール漏れを起こします。

2. 適正量の注油要領

オイルは、ISO VG32~68相当を使用し、初期充填時は“□”マークまで注油して下さい。

変色したオイルが“▶”マークに達したらオイルを交換して下さい。

連続運転による油の推奨交換周期は500h~600h(3~4週間)です。

急激に変色したオイルが増加した場合はメカニカルシール漏れの疑いがありますので点検して下さい。

※メカニカルシールからの漏れはゼロでは有りません。

3. 注意事項

メカニカルシールは、シール部境界面を微小な油膜を形成することで非接触状態として運転していますので全く漏れないものではなく、初期漏洩を含め安定運転中も微量の漏洩があります。

※オイル貼付ステッカーの□マークから◀マーク迄の容積が80ccですが、この間の油面上昇が約26時間以上であれば許容値となります。

[オイルが規定量より多い場合の不具合]

安定運転中の漏洩でも、短時間でオイルが一杯になり、オイル上部より潤滑油が溢れ出てしまう可能性があります。

[オイルが規定量より少ない場合の不具合]

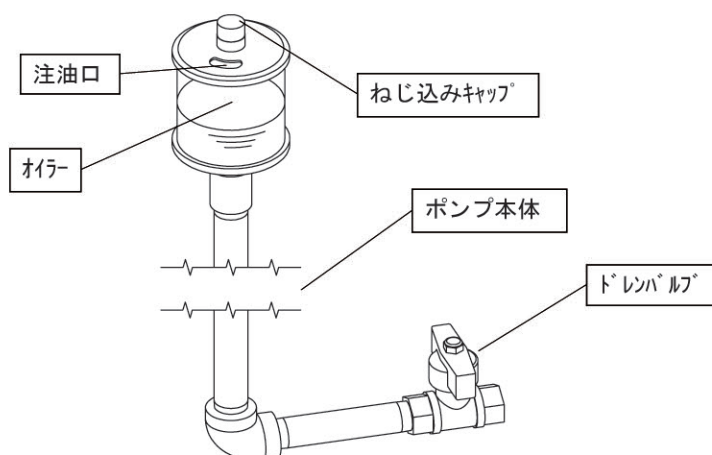
クエンチングオイルの状況を、目視で確認することができません。

オイルへの潤滑油の充填は適正量として下さい。

オイルー保守注意事項

● 油面管理

- ・メカニカルシールからにじみ出る油により、オイルー内のクエンチングオイルが変色し、**油面が上昇**する事があります。
〔※運転初期や油タンクの切換えによる液温の変化等によりメカニカルシールの漏れ量が増加する場合があります〕
 - ・変色したクエンチングオイルをそのままにしておくと、メカニカルシール・オイルシール漏れ等、軸シール部の不具合が発生しやすくなる為、クエンチングオイルの交換を行ってください。
 - ・特に運転初期、又は高温での連続運転に使用されるポンプは早めの交換を推奨致します。
- ※連続運転時における推奨交換周期：500h ～ 600h(3～4 週間)



※補足：許容漏れ量について

- ・メカニカルシール漏れの許容値は 3cc/h で、クエンチングオイルの油面の上昇についても同様です。
- 〔※オイルー注意銘板の□マークから▲マークまでの容積が約80ccですので、この間の油面上昇が約 26 時間以上であれば許容値以内となります〕
- ・油面が上昇し、貼付ステッカーの▲マークまで達した場合は、クエンチングオイルの交換を行ってください。
- ・オイルー内のクエンチングオイルが減少した場合もクエンチングオイルの補充を行ってください。

※オイルー保守注意事項をポンプ本体に取付けております。